

くそう づ がわ やばせ ゆ でん れきし 草生津川と八橋油田の歴史

草生津川の「草生津(くそうづ)」は、「臭水」という語からきております。

臭水は、「くそうず」と発音し、臭い匂いのする水すなわち「石油」を指す言葉です。

くほ たじょうか 久保田城下(現・秋田市)の臭水については、くろかわ ゆ でん 金足黒川の黒川油田と草生津川流域の八橋地域が早くから知られており、「梅津政景日記(うめづまさかげ・江戸時代の秋田藩家老)」の かんえい 寛永八年(西暦1631年)10月10日の条に、「くさつのあふらを密売した者がおり、みつばい 無許可だったため、にゅうろう 入牢を命じられた」と記されていることから、すでに17世紀初頭において、油が採取され商品化されていたことがわかります。主に へいがき とりょう 灯油や ばくまつ 塀垣の塗料に使われていました。幕末・いしん 維新期にかけて「せいゆしゅほう 蘭引き方」という製油手法を先進地であった えちご 越後(現・新潟県)から どうにゅう 導入し、近代化の足がかりとしたのが、てんぽう 天保末年(西暦1844年)に藩 ごようあふらしょう の御用油商となった はいはん ちけん 千蒲善五郎(ちがまぜんごろう)で、しぞく 廃藩置県後は土族 じゆさん 授産として本格的な石油事業が展開されるようになりました。

(出典:『秋田市史第三巻近世通史編』)

ぜんせい 全盛の頃は ゆせい 油井やぐらが立ち並び、やばせ 八橋油田として日本一の原油生産量を誇りましたが、現在はほとんど採れなくなっています。

(参照:秋田市文書法制課資料)

【秋田市エコマップシリーズ 9】

わたしたちの くそ づ がわ 草生津川

平成22年度

風渡る水面(みなも)と揺れる草花
耳を澄ませば聞こえてくる
鳥のさえずり

かけがえのない環境について
考えてみませんか

〔編集・発行〕

秋田市環境部環境都市推進課
秋田市寺内蛸根三丁目24-3
TEL.018-863-6632

〔協力〕

秋田県自然観察指導員連絡協議会
秋田市支部(ナトゥーア秋田)
草生津川コスモスロード実行委員会
草生津川桜愛護会
秋田市立寺内小学校
秋田市立八橋小学校

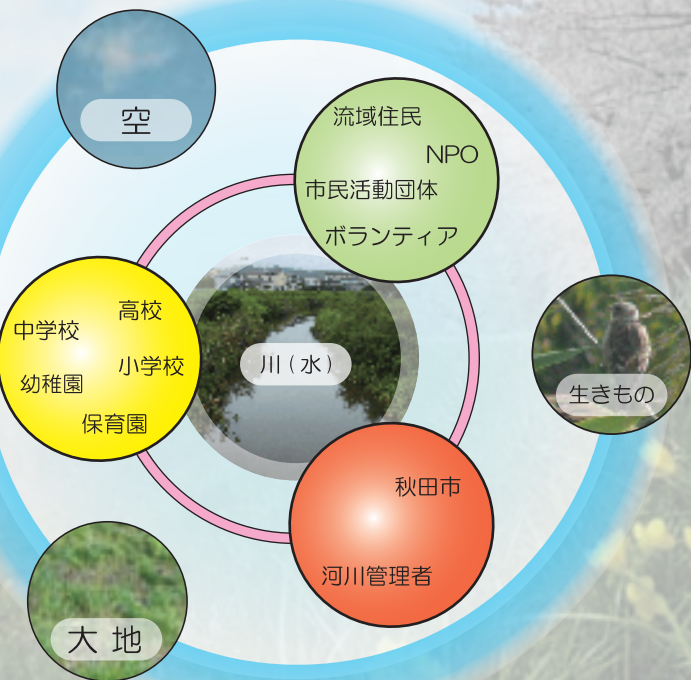


八橋油田の位置



八橋油田(昭和初期)

川を取り巻く地域環境



環境の「環」は、「循環」の「環」であり、「環(輪)」という意味を持っています。私たちの身近に流れる川は、水循環の一部として、上流から下流へ絶え間なく流れています。

こうした水の循環は、単純に降水と蒸発を繰り返しているように感じられますが、それは、多様な生物が育む自然環境の保水力や過作用があってこそその循環であり、私たち人間もその多大な恩恵を受けて暮らしています。

秋田市では、豊かな自然環境を保全していくために、環境基本条例の基本理念の一つに「人と自然が共存するまち」を掲げ、「地域環境力」※1を育て、活用していく街づくりを推進しています。

※1 「地域環境力」とは、市民一人ひとりが環境に対する自らの責任を自覚しつつ、地域の人材や自然的、社会的基盤などを資源として把握・活用し、地域を挙げて、より良い環境をつくっていくという意識の高まりや能力のことを言います。

寺内小学校 5年 総合的な学習



「考えよう！」
かんきょう
身近な環境・地球環境

秋田市立寺内小学校
 〒011-0902
 秋田市寺内堂ノ沢二丁目14-1
 018-846-8501

寺内小学校では、自分たちの住む町を流れる草生津川の自然環境を知り、環境を守るためにできる活動を通して、環境と自分たちの生活のかかわり方について考える学習に取り組んでいます。

1. 草生津川を探検しよう!

身近な自然として、学校に通う時に通る草生津川について学級で話し合いました。

みんなからいろいろな意見が出たので、それらを確かめるために草生津川を探検しました。

桜や菜の花や水仙の花が咲いていました。

とてもきれいでした。



2. クリーンアップ活動

草生津川の堤防のごみ拾いをしました。空き缶や空きビンなどが落ちていました。ポイ捨てのごみが多くて悲しくなりました。

川がきれいになってうれしかったです。



3. 水質調査に挑戦!

草生津川の水質調査をしました。パックテストの結果、水が汚れていることがわかりました。

川にいる魚を観察しました。ナマズが大きくてびっくりしました。魚は観察した後、草生津川に返しました。



環境を守るために自分たちができることを考えよう!



4月から学習してきた、私のできるはん囲で環境をまもるためにやることに取り組みたいです。

私のできることは、食べ物を残さないようにしていきたいです。

自分の生活を見直していきたいです。

草生津川に自転車捨てられているのを見て、ほくは、「こんな使えるものをしかも川に捨てるなんて、捨てる人はなにを考えているのか」と思いました。

ほくの考えは、とにかくポイ捨てする人を減らしたいです。

環境が良くない草生津川のために、ほくたちにできることは、環境に良くない使った油を流さないなど排水に気をつけたり、水を大切に使用したりすることです。これからも環境に気をつけたいです。

八橋小学校 3年 総合的な学習



「八橋のじまんをみつけよう」

～ 豊かな自然のまち八橋コースの実践 ～

秋田市立八橋小学校
〒010-0963
秋田市八橋大沼町7-1
018-862-6930



総合の課題発見につながった草生津川堤防での理科「春の自然をさがそう」の活動の様子



NPO法人「花と風のまち・ネット」の小松さんのお話から、コスモスロードの取組みと草生津川の豊かな自然を守る事の大切さを知る子どもたち

学習発表会



草生津川の自然を守る事の大切さを訴える子どもたち

コスモスにもいろいろな種類があるんですね。



自然観察指導員の方々の説明から、草生津川の多くの動植物に気付く子どもたち



これが「シャクトリムシ」なんだ。初めて見たよ。

草生津川には、多くの自然があるんだよ。コスモス、こい、ザリガニなどいろいろな生きものが生活しているよ。コスモスロードは、これらの自然を守るためにできたそうだよ。わたしたちも、川をよごさず、自然や環境を守ってこうね。

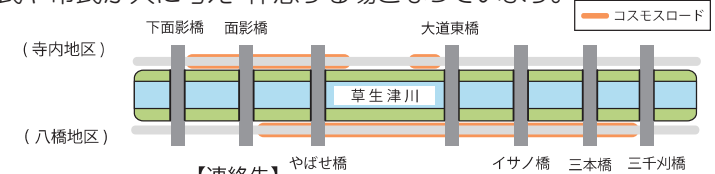
草生津川コスモスロード 実行委員会



親水空間として、下面影橋～三千刈橋間2.3kmにコスモスを植栽しています。

また、クリーンアップ・草刈り・広場づくりなどの水辺環境整備や小学校総合学習との連携、郷土史伝承活動を行っています。

コスモスロードは、これらの活動を通じ、NPO、流域町内会・子ども会・婦人組織、企業や市民ボランティアなどの参加の輪が広がり、自然・環境との共生、市民協働と地域づくりなどの意義や方向性を地域住民や市民が共に考え、体感する場となっています。



【連絡先】

〒010-0963 秋田市八橋大沼町15-30
草生津川コスモスロード実行委員会
TEL・FAX. 018-865-6147
URL <http://www.akita-kenmin.jp/hanakaze/>

イベント
コスモスロードまつり 10月上旬
イベントデー // (2日間)

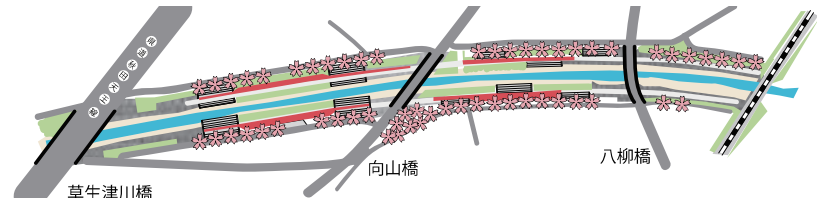
草生津川桜愛護会

1. 主な活動について

地域環境美化の集団的一環として、年2回の除草清掃等を実施し、地域住民の絆はもとより公共施設物への道徳心の強化を図っています。

2. 地域との草生津川を通じた関わりについて

草生津川桜並木の全町(5町内会)による観桜会の実施により、町内全体における親近感の強化と草生津川の流れと緑豊かな地域づくりへの強化、そして「地域コミュニティー」の拠点となるよう一人ひとりの心がけへの助成となっています。



サクラ植栽帯
※植栽本数ではありません。
桜並木(ソメイヨシノ)
植栽本数 54本

「川は古里の鏡であるように」

イベント
草生津川さくらまつり 4月下旬

【連絡先】

〒011-0935 秋田市將軍野向山4-35
草生津川桜愛護会事務局 鎌田 重美
TEL. 018-845-6309

やさしい気持ちで、自然観察しよう

や

野外活動、無理なく楽しく

自然は、人のためだけにあるものではありません。思わぬ危険が潜んでいるかもしれないのです。知識とゆとりを持って、安全に行動するようにしましょう。

さ

採取は控えて、自然はそのままに

自然は様々な野生生物の住みかであり、複雑な関係を持って生きています。あるがままを見ることで、いままで気づかなかった世界が広がります。むやみに取ることは控えましょう。

し

静かに、そーっと

野生動物は人を恐れるものが多く、大きな音や動作を警戒します。静かにしていれば彼らをおどかさずにすみすし、小さな鳴き声や羽音など自然の音を楽しむこともできます。

い

一本道、道からはずれないで

危険をさけるため、自然を傷つけないため、田畑の所有者などそこに暮らす人に迷惑をかけないためにも道をはずれないようにしましょう。

き

気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑

撮影が野生生物や周囲の自然に悪影響を及ぼす場合もあるので、対象の生物や周囲の環境をよく理解した上で影響がないようつとめましょう。

餌を与える行為も、カラスやハトのように人の生活と軋轢が生じている生物、生態系に影響を与えている移入種、水質悪化が指摘されている場所などでは控える必要があります。

また、写真撮影や給餌、観察が地元の人や周囲の人に誤解やストレスを与える場合もあるので、十分な配慮をしましょう。

も

持って帰ろう、思い出とごみ

ごみは家まで持ち帰って処理しましょう。ビニールやプラスチックが鳥たちを死にいたらしめることがあります。またお弁当の食べ残し等が雑食性の生物を増やすことで、自然のバランスに悪影響を与えます。

責任を持ってごみを始末することは、誰でもできる自然保護活動です。

ち

近づかないで、野鳥の巣

子育ての季節、親鳥は特に神経質になるものが多く、危険を感じたり、巣のまわりの様子が変わると、巣を捨ててしまうことがあります。

特に、巣の近くでの撮影はヒナを弱らせ死にいたらしめることもあるので、野鳥の習性を熟知していない場合は避けましょう。

また、巣立ったばかりのヒナが道ばたに落ちて迷子になっているように見えることがあります。近くで親鳥が潜んで見守っていることが多いので、間違えて拾ってこないようにしましょう。

財団法人 日本野鳥の会

「日本野鳥の会が贈る、野鳥を楽しむポータルサイト BIRD FAN」 URL <http://www.birdfan.net/> を参考に作成しました。

エコマップシリーズ9「わたしたちの草生津川」について

人間を含む全ての動植物は、自然がもたらす恵みの中で、相互に調和と均衡を保ちながら、生命を育てています。しかし、人間の営みがあまりにも大きくなりすぎ、この調和が崩れそうになっています。

私たちは、豊かな生活を目指しつつ、次の世代にもより良い環境を引き継いでいなくてはなりません。それには、私たち一人ひとりが自分にできることから取り組むことが大切です。

本市では、平成6年度に作成した「秋田市ホタルマップ」を皮切りに、市民参加を基調とした地域環境の調査を進め、エコマップシリーズとして発行しています。

今回は、北部地区の水田域(外旭川)から流水を集め、中央地区の西側(寺内・八橋)を通り、秋田運河(旧雄物川)へと流れ込む「草生津川」にスポットを当て、川の自然と人々の関わりについてまとめました。

この川は水面に石油特有の油膜が揺らめき、生活排水が流れ込む「臭い川」として名高い川でした。

しかし、平成元年に流域の下水道網がほぼ完成し、生活排水が流れ込まなくなった草生津川は、平成元年度まで概ね10mg/リットルであったBOD(生物化学的酸素要求量)の値が、近年では環境基準の3mg/リットルを下回るほどに改善してきています。

また、流域にある寺内小学校と八橋小学校では授業に草生津川調査を取り入れているほか、地域住民によるコスモスや桜の植樹、川岸の草刈りなど草生津川周辺の環境保全活動が積極的に行われています。

このような活動が、地域の良好な環境を守り、回復し、創ることへの関心を高め、実際の行動へつなげていくための「きっかけづくり」となり、その活動が全市域へ波及していくことを願ってやみません。

この美しい郷土の自然を守り、次世代へ伝えていくのは私たちの責務です。こどもから大人までみんなで力をあわせて、この豊かな秋田の自然をかけがえのない大切なものとして守り、育てていきましょう。

本マップの作成にあたり、秋田県自然観察指導員連絡協議会秋田市支部の協力をいただいたほか、流域に学区を持つ小学校や地域で活動を行っている皆さんからたくさんの情報をいただきました。皆様の積極的なご協力に厚く感謝申し上げます。

秋田市環境部環境都市推進課 環境学習・活動担当